

平成25年度

大分大学医学部医学科
第2年次後学期学士編入学
学生募集要項
【地域枠募集を含む】

出願期間：平成25年5月7日(火)～5月10日(金)

第2次選抜試験：平成25年6月18日(火)

第3次選抜試験：平成25年7月17日(水)

第3次選抜結果(最終発表)：平成25年7月26日(金)

平成25年3月



変化する、そして進化する。

OITA UNIVERSITY

大分大学

目 次

大分大学アドミッション・ポリシー	1
医学部アドミッション・ポリシー	2
I. 学生募集要項	
1. 目 的	3
2. 募集人員	3
3. 入学年次	3
4. 入学時期	3
5. 出願資格	3
6. 出願要件	4
7. 出願手続	4
(1) 出願受付期間	4
(2) 出願方法	4
(3) 出願書類等	4
8. 障がいのある者等の事前相談	6
9. 震災により被災した者、または震災や福島原子力発電所事故 により転学等をした者の事前相談	6
10. 入学者選抜方法	6
11. 不正行為の取扱い	7
12. 選抜結果の発表及び通知	7
13. 入学手続	8
14. 入学料及び授業料	8
15. 欠員の補充	8
16. 大分県医師修学資金貸与制度	8
17. 入学試験個人成績の開示	9
18. 受付窓口	9
19. その他の注意事項	9
20. 大分大学位置図	10
II. 入学案内	11

大分大学アドミッション・ポリシー

基本理念

人間と社会と自然に関する教育と研究を通じて、豊かな創造性、社会性及び人間性を備えた人材を育成するとともに、地域の発展ひいては国際社会の平和と発展に貢献し、人類福祉の向上と文化の創造に寄与することです。

教育の目標

1. 学生の立場にたった教育体制のもとで、広い視野と深い教養を備え、豊かな人間性と高い倫理観を有する人材を育成します。
2. ゆるぎない基礎学力と高度の専門知識を修得し、創造性と応用力に富んだ人材を育成します。
3. 高い学習意欲をもち、たゆまぬ探究心と総合的な判断力を身につけ、広く世界で活躍できる人材を育成します。

求める学生像

意欲をもち将来への可能性を秘めている人を求めています。

1. 幅広く、より深く学ぶための基礎的能力をもっている人
2. 旺盛な知的好奇心をもち、新しい課題に積極的に取り組む人
3. 自分のもつ資質を磨き、能力を伸ばしたい人
4. 夢や目的をもち、周囲と協力しつつその実現に向けて努力する人
5. 志をもって国際社会及び地域社会への貢献をめざす人

医学部アドミッション・ポリシー

基本理念

医と看護に関する最新の学術を教育・研究し、高度の医学及び看護学の知識並びに技術、そしてこれらを支える高い倫理観と豊かな教養・人間性を備えた医師或いは看護師・保健師、更には医学、看護学研究者を養成し、これら学問の進歩、国民の健康の維持増進、医療・保健を中心に地域や国際社会の福祉に寄与することが基本理念です。

教育の目標

医学科

患者の立場を理解した全人的医療を行い、豊かな教養と人間性、高度の学識、問題解決能力、生涯学習能力及び国際的視野を備えた医師や研究者を養成します。

看護学科

(略)

求める学生像

医学科

- 1 医師として人の健康と福祉及び科学の進歩に貢献したいという確固たる決意を持っている人
- 2 患者の痛みを分かち合い、患者に対する思いやりに満ちた慈愛の心を正しく体得しようとする志を持っている人
- 3 日進月歩の医学・医療に対応する知識と技術を習得するため、たゆまぬ努力と地道な研鑽を重ねることができる持続力と忍耐力を持ち合わせている人
- 4 他者の意見を良く聞き、協調して物ごとを進めることができる社会性とコミュニケーション能力を備えている人

看護学科

(略)

入学者選抜の基本方針

医学科

前述の「求める学生像」にふさわしい学生を選抜するために、医学科では、一般入試とアドミッション・オフィス入試を実施し、それぞれの選抜の趣旨に従って、多様な観点から受験生の学力や資質を評価しています。また、医学以外の学問を修めた大学卒業者を対象に2年次後学期への学士編入学を実施しています。

- ・一般入試（前期日程）
(略)
- ・アドミッション・オフィス入試（略称「AO入試」）
(略)
- ・学士編入学

学士編入学では、多様な専門能力、明確な問題意識や高い問題解決能力を有する人材並びに地域医療の場で活躍できる人材を受け入れるため、次のような3段階による選抜方法を実施しています。第1次選抜では小論文を含む書類審査を、第2次選抜では生命科学に関する総合問題と英語の学力審査を、第3次選抜では個人面接と課題発表形式を取り入れた集団面接を行っています。

看護学科

(略)

I 学生募集要項

1. 目的

今日、わが国の医学・医療は少子高齢化、高度情報化社会への適切な対応、そして、脳死、臓器移植、体外受精、遺伝子治療などに対する高い倫理観が求められる一方、基礎医学と先端的医療の推進、地球規模での医学・医療協力への貢献など、さまざまな分野で変革が求められています。

このように大きく変化する医療環境の中、これからの医療人には、幅広い人間性、人間への深い洞察力、高い倫理観、コミュニケーション能力、より高い問題解決能力、そして生涯学習意欲が求められています。

そこで、大分大学医学部医学科では、**医学以外の学問を修めた大学卒業者**で、上記の資質を備え、かつ、明確な問題意識を持って改めて医学を目指す方に、編入学の道を開くことによって、多様な専門能力と適性を有する人材を学生として迎え入れたいと考えています。

そして、単に臨床医を志向するだけでなく、臨床研究または、生命科学、予防医学分野の研究を積極的に志向し、国際医療協力を携わるような国際性を備えた医師や研究者を育成することを目的としています。そのため、入学後は希望する講座等*に所属し、修学・研究上の指導を受けることが望まれます。

また、大分県において近年問題となっている地域における医師の偏在化に伴うへき地医療従事者減少の問題に対応するため、大分県内の中学校又は高等学校を卒業した者で、将来大分県内の地域医療に貢献したいという強い意志を持った者を対象とした**地域枠**を設け、卒業後、大分県の地域医療を担う医師の養成を図ります。

* 講座等の概要については、本学ホームページ<http://www.med.oita-u.ac.jp/campus/h24gaiyo.pdf>を参照してください。

2. 募集人員

医学部医学科 10名（地域枠として3名以内は、大分県内の中学校又は高等学校卒業者とする。）

3. 入学年次

第2年次後学期

4. 入学時期

平成25年10月

5. 出願資格

次のいずれかに該当する者とします。ただし、医学部医学科の卒業者（退学者を含む。）及び在籍者は出願できません。

- (1) 修業年限4年以上の大学を卒業した者（学校教育法第104条第4項の規定により大学評価・学位授与機構から学士の学位を授与された者を含む。）又は平成25年9月30日までに卒業見込みの者
- (2) 外国において学校教育における16年の課程を修了した者及び平成25年9月30日までに修了見込みの者

6. 出願要件

一般枠	前述「5. 出願資格」のいずれかの出願資格に該当する者
地域枠	大分県内の中学校又は高等学校を卒業した者で、前述「5. 出願資格」のいずれかの出願資格に該当する者であり、卒業後、大分県の地域医療に貢献したいという強い意志を持ち、合格した場合は、入学することが確約できる者

注1 大分県内の中学校又は高等学校を卒業した者は、「地域枠」、「一般枠」及び「地域枠と一般枠の両方」の区分で出願できます。

注2 「地域枠と一般枠の両方」の区分で出願した者は、「地域枠」を優先して選抜し、「地域枠」で合格とならなかった場合は、「一般枠」として選抜の対象となります。

7. 出願手続

(1) 出願受付期間

平成25年5月7日(火)～5月10日(金)

受付時間は各日とも9時から17時までとします。なお、郵送の場合は5月10日(金)17時必着とします。


(2) 出願方法

出願を希望する者は、出願書類等を取り揃えて持参又は、「簡易書留速達郵便」にて下記宛に郵送してください。

〒870-1192 大分市大字旦野原700番地

大分大学学生支援部入試課 TEL 097-554-7471

(3) 出願書類等

書類等	摘要
志願書	本要項に添付している本学所定の用紙を使用してください。
受験票・写真票	
入学検定料振替 払込受付証明書 (30,000円)	<p>①②のいずれかの方法でお支払いください。</p> <p>①金融機関(郵便局を含む)でお支払いの場合 本学所定の振込用紙を用い、必ず窓口でお支払いください(ATM不可)。 お支払い後は「振替払込受付証明書(大学提出用)」を受験票下の貼付欄に貼ってください。</p> <p>②コンビニエンスストア(一部)でお支払いの場合 下記URLから申し込み、受付番号を入手後コンビニエンスストアでお支払いください。 お支払い後は「収納証明書(コンビニエンスストアによっては領収書)」を受験票の貼付欄に貼ってください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パソコンから本学ホームページ(http://www.oita-u.ac.jp/) メニュー → 入試情報 → 入学検定料のコンビニ収納 から申し込んでください。 ・携帯電話からの申込みURL(https://www.oita-u.net/mobile/) ※フィルタリングサービスをご利用の携帯電話からは、アクセスできないことがあります。 <p>※手数料は本人負担となります。 ※納入した検定料は返還できません。</p> 

推 薦 書	本要項に添付している本学所定の用紙を使用し，出身の大学又は大学院の指導教員（指導教員に依頼できない場合は，志願者の人格，性行，研究意欲などを熟知している者（配偶者及び3親等以内の親族を除く））による志願者の人物評価を含めた推薦書（作成者が厳封したもの）を提出してください。推薦文は，原則として日本語又は英語で作成してください。なお，推薦者に推薦内容について問い合わせることがあります。
成 績 証 明 書	出身大学長が証明し，厳封したものを提出してください。 なお，平成25年9月30日までに卒業見込みの者は，出願時の成績証明書とします。 大学院修了者は，大学院の成績証明書（当該研究科長が証明し，厳封したもの）も提出してください。 日本語以外の証明書には，和訳を付けてください。 （大学が和訳の証明書を発行しない場合は，志願者本人が和訳してください。様式は問いません。）
卒業（見込）証明書	出身大学の卒業（見込）証明書又は大学評価・学位授与機構の学位の授与証明書を提出してください。大学院修了者は，学位授与（修了見込）証明書も提出してください。地域枠志願者で，大分県内の中学校又は高等学校卒業者は，中学校又は高等学校の卒業証明書を提出してください。中学校並びに高等学校が大分県内の場合は，高等学校の卒業証明書のみ提出してください。
課 題 小 論 文	大学で在学中に専攻した学問分野並びに社会活動等その他の活動について説明し，それを医学の分野で今後どのように活かし，医学・医療に貢献しようとしているかを述べてください。（本要項に添付している本学所定の様式に，自筆で横書きしてください。字数は，1,000字以内とします。又，「その他の活動」については，可能な限り活動内容及びそれを証明できるものを添付してください。ただし，3点以内とします。なお，添付するものは <u>A4サイズに統一</u> してください。）
あ て 名 票	本要項に添付しているあて名票に志願者の郵便番号・住所（合格通知等を受け取る場所）・氏名を必ず記入してください。
返 信 用 封 筒 (第1次選抜結果通知用)	本要項に添付している本学所定の封筒に郵便番号・住所・氏名を記入し，350円分の切手を必ず貼ってください。

(注意事項)

- ①入学志願書の記入漏れ等がないように十分留意してください。
- ②課題小論文はボールペンで記入し，訂正は複線を付してその上に記入してください。（訂正印は不要です。）
- ③改姓により，現在の氏名と証明書等の氏名が相違する場合は，戸籍抄本等の改姓の事実が確認できる書類を提出してください。
- ④一度受理した出願書類等は，いかなる理由があっても返還しません。
- ⑤出願受付期間後に到着したもの及び出願書類等に不備があるものは受理しません。

8. 障がいのある者等の事前相談

障がいを有する等、受験上特別な措置及び修学上特別な配慮を必要とする可能性がある入学志願者については、下記要領で申し出てください。

(1) 申出期限

平成25年4月10日（水）17時までに申し出てください。

ただし、期限後に不慮の事故等により障がいのある状態になったときには、その時点ですみやかに申し出てください。

(2) 申出方法

本要項に添付している「平成25年度大分大学医学部医学科第2年次後学期学士編入学試験特別措置申請書（健康診断書等必要書類添付）」を提出し、必要な場合は、本学において、志願者本人またはその立場を代弁しうる関係者等との面談を行います。

(3) 申出先

〒870-1192 大分市大字旦野原700番地
大分大学学生支援部入試課 TEL 097-554-7471

9. 震災により被災した者、または震災や福島原子力発電所事故により転学等をした者の事前相談

東日本大震災により被災した入学志願者、または震災や福島原子力発電所事故により転学等をした入学志願者で、本学の受験に際し特別な措置が必要な者、及び修学上特別な配慮が必要な者は、下記要領で申し出てください。

(1) 申出期限

平成25年4月10日（水）17時までに申し出てください。

(2) 申出方法

志願者本人またはその立場を代弁しうる関係者等から、直接または電話により申し出てください。

(3) 申出先

〒870-1192 大分市大字旦野原700番地
大分大学学生支援部入試課 TEL 097-554-7471

なお、東日本大震災に関する入試情報については、本学ホームページ(<http://www.oita-u.ac.jp/>)に詳細を掲載しています。

10. 入学者選抜方法

第1次、第2次及び第3次選抜を実施し、合格者を決定します。

(1) 第1次選抜

出願書類等により書類選考を行い、募集人員の約10倍を第1次選抜の合格者とします。

(2) 第2次選抜

第1次選抜の合格者に対して、生命科学に関する総合問題（大学教養教育修了程度）及び英語を課し、その結果を総合判定し、募集人員の約3倍を第2次選抜の合格者とします。

期 日	試 験 科 目	試 験 時 間	試 験 場
平成25年 6月18日（火）	生命科学に関する 総 合 問 題	10：00～12：00 (120分)	大分大学医学部 (挾間キャンパス)
	英 語	13：30～15：00 (90分)	

(3) 第3次選抜

第2次選抜の合格者に対して、個人面接及び集団面接を実施し、最終合格者を決定します。

期 日	試 験 内 容	試 験 時 間	試 験 場
平成25年 7月17日（水）	個 人 面 接	9：00～17：00 (予定)	大分大学医学部 (挾間キャンパス)
	集 団 面 接		

11. 不正行為の取扱い

- (1) 次のことをすると**不正行為となります**。不正行為を行った場合は、その場で受験の中止と退室を命じられ、**それ以後の受験はできなくなります**。また、**受験した試験のすべての教科・科目の成績を無効とします**。
- ア) 入学志願書、受験票、写真票又は解答用紙へ**故意に虚偽の記入**(受験票、写真票に本人以外の写真を貼ることや解答用紙に本人以外の名前・受験番号を記入するなど)をすること。
 - イ) **カンニング**(カンニングペーパー・参考書・他の受験者の答案等を見ること、他の人から答えを教わることなど)をすること。
 - ウ) 他の受験者に**答えを教えたりカンニングの手助け**をすること。
 - エ) 試験時間中に、**問題冊子を試験室から持ち出す**こと。
 - オ) **解答用紙を試験室から持ち出す**こと。
 - カ) 「解答はじめ。」の指示の前に、**問題冊子を開いたり解答を始める**こと。
 - キ) 試験時間中に、**携帯電話や電子辞書、ICレコーダー等の電子機器類**を使用すること。
 - ク) 試験時間中に、**定規、コンパス、電卓等の補助具**を使用すること。
 - ケ) 「解答やめ。鉛筆を置いて問題冊子を閉じてください。」の指示に従わず、**鉛筆や消しゴムを持っていたり解答を続ける**こと。
- (2) 上記(1)以外にも、次のことをすると**不正行為となる**ことがあります。指示等に従わず、不正行為と認定された場合の取扱いは、上記(1)と同様です。
- ア) 試験時間中に、携帯電話等の電子機器類や定規、コンパス、電卓等の補助具をかばん等にしまわず、身に付けていたり手に持っていること。
 - イ) 試験時間中に携帯電話や時計等の音(着信・アラーム・振動音など)を長時間鳴らすなど、試験の進行に影響を与えること。
 - ウ) 試験に関することについて、自身や他の受験者を利するような虚偽の申し出をすること。
 - エ) 試験場において他の受験者の迷惑となる行為をすること。
 - オ) 試験場において試験監督者等の指示に従わないこと。
 - カ) その他、試験の公平性を損なうおそれのある行為をすること。

12. 選抜結果の発表及び通知

- (1) 第1次選抜結果
平成25年6月7日(金)に志願者全員に選抜結果を速達郵便で通知します。
この際、第1次選抜合格者には受験票を同封します。
なお、電話による合否の照会には応じません。
- (2) 第2次選抜結果
第2次選抜合格者の発表は、平成25年7月5日(金)10時に本学旦野原キャンパス教養教育棟前及び挾間キャンパス管理棟玄関前に合格者の受験番号を掲示するとともに、第2次選抜受験者全員に選抜結果を速達郵便で通知します。
また、本学ホームページ(<http://www.oita-u.ac.jp/>)にも合格者受験番号を掲載します。
なお、電話による合否の照会には応じません。
- (3) 第3次選抜結果(最終発表)
最終合格者の発表は、平成25年7月26日(金)10時に本学旦野原キャンパス教養教育棟前及び挾間キャンパス管理棟玄関前に合格者の受験番号を掲示するとともに、第3次選抜受験者全員に選抜結果(最終発表)を速達郵便で通知します。
また、本学ホームページ(<http://www.oita-u.ac.jp/>)にも合格者受験番号を掲載します。
なお、電話による合否の照会には応じません。
※合格者受験番号の掲示と掲載は、一般枠、地域枠を区分して行います。

13. 入学手続

(1) 入学手続期日

平成25年8月6日(火) (1日のみ)

受付時間は9時～17時です。

注1 入学手続の詳細については、合格通知とともに送付する「入学手続のご案内」によりお知らせします。

注2 入学手続日に入学手続を完了しなかった者は、入学辞退者として取り扱います。

14. 入学料及び授業料

入学料 282,000円

授業料(年額) 535,800円(前期分 267,900円 後期分 267,900円)

(授業料については、希望により前期分の納付の際に、後期分も合わせて1年分の納付もできます。)

注1 入学料については徴収猶予・奨学融資の制度が、授業料については免除・徴収猶予・奨学融資の制度があり、申請手続きは入学料・授業料の納付前に行う必要があります。詳細については、学生支援課奨学支援グループ(TEL 097-554-7386)へお問い合わせください。

注2 入学料・授業料は改定されることがあります。

なお、在学中に授業料の改定が行われた場合には、改定後の授業料が適用されます。

注3 既納の入学料は返還できません。

15. 欠員の補充

合格者の入学辞退等により入学定員に満たない場合は、追加合格により欠員の補充を行います。

(1) 通知方法

編入学志願書に記載の「合格通知を受け取る場所」へ電話により連絡します。

(2) 通知開始

平成25年8月6日(火)の17時以降

※追加合格は「一般枠」「地域枠」毎に、欠員の生じた枠内で行います。ただし、各枠の次点以下の者が合格の基準点に達していないと本学が認めた場合はこの限りではありません。

16. 大分県医師修学資金貸与制度

大分大学医学部に地域枠で学士編入学した学生には、大分県医師修学資金が貸与されます。

(1) 貸与額

貸与額は、本学の入学料及び授業料に相当する額、並びに月額15万円です。

※貸与額は、入学料・授業料改定によって変更することがあります。

(2) 返還の免除

貸与を受けた期間の2分の3に相当する期間を義務期間とし、この期間に大分県知事の指定する医療機関において医師として勤務した場合、全額返還免除とします。

(3) その他

医師修学資金は、地域枠で合格した者全員に貸与します。なお、詳細は大分県の「大分県医師修学資金貸与制度のしおり」を確認してください。

・問合せ先

大分県福祉保健部医療政策課地域医療推進班

〒870-8501 大分市大手町3丁目1番1号

TEL 097-506-2659 FAX 097-506-1734

17. 入学試験個人成績の開示

平成25年度医学科第2年次後学期学士編入学試験の個人成績を、第2次選抜試験の結果のみ受験者本人に限って開示します。希望者は、次の方法により申し込んでください。

【申込期間】平成25年10月1日（火）～平成25年10月31日（木）

※土日及び祝日は除く。

【申込者】受験者本人に限ります。（代理人は不可）

【申込方法】下記の書類等を持参又は郵送で本学入試課に提出してください。

①入学試験個人成績開示申請書※

②第2年次後学期学士編入学の受験票（コピー）

③写真付きの身分証明書（コピー）

④返信用封筒（長形3号の封筒に本人の郵便番号・住所・氏名を明記の上、380円分の切手（簡易書留の郵便料金分）を貼ってください。）

※入学試験個人成績開示申請書は、次のいずれかの方法により取り寄せてください。

・本学入試課に直接来学する。

・大分大学ホームページから印刷して使用する。

・本学入試課宛に返信用封筒（長形3号の封筒に本人の郵便番号・住所・氏名を明記の上、80円分の切手を貼ったもの）を送る。なお、封筒の表に朱書きで「入学試験個人成績開示申請書請求」と明記してください。

【開示方法】受験者本人宛に簡易書留郵便で後日送付します。

【開示内容】第2次選抜試験の合格者には、得点を通知します。

第2次選抜試験の不合格者には、合格最低点と得点の差をランク別に通知します。

※不合格者に対する開示は、「一般枠」「地域枠」毎に分けて行います。

18. 受付窓口

入学者選抜試験に関する問い合わせ、出願書類及び入学試験個人成績開示申込の受付窓口は下記のとおりです。

〒870-1192 大分市大字旦野原700番地 大分大学学生支援部入試課 TEL 097-554-7471

19. その他の注意事項

- (1) 提出書類の記載事項が事実と相違していることが判明した場合には、入学後でも入学許可を取り消すことがあります。
- (2) 入学志願者から提出された出願書類等に記載されている個人情報については、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」及び「国立大学法人大分大学個人情報保護ポリシー」に基づき、入学者選抜に係る業務・統計処理などの付随する業務以外には利用しません。ただし、入学料・授業料免除（猶予）及び奨学金を申請した者にあつては、選考資料として利用します。
- (3) 第1次選抜結果及び受験票（合格者のみ）が平成25年6月12日（水）までに到着しない場合は、本学学生支援部入試課まで申し出てください。
- (4) 第2次選抜結果が平成25年7月10日（水）までに到着しない場合は、本学学生支援部入試課まで申し出てください。
- (5) 試験当日は、受験票を必ず持参してください。
- (6) 挟間キャンパス敷地内は全面禁煙です。
- (7) 試験当日は原則として、自動車・バイクによる入構を禁止します。
- (8) 試験場建物内には、付添人は立ち入ることができません。
- (9) 受験者のための宿泊施設は、本学では紹介しません。

- (10) 昼食は持参してください。
- (11) 出願後の検定料の払い戻しはできません。
- (12) 挟間キャンパスでは、試験時間中に医学部附属病院救命救急センターのドクターヘリによる患者緊急搬送が行われる場合があります、その離着陸の際、一時的に大きな音が発生することがあります。この場合も生活騒音として扱い、原則、試験を続行することとしていますので、予めご了承ください。

20. 大分大学位置図

大分大学医学部（挟間キャンパス） ※試験会場

所在地 由布市挟間町医大ヶ丘1丁目1番地

TEL 097-586-5540, 5541

◎バス利用（大分バス）

大分バス本社前〔トキハデパート前〕2番のりば又はJR大分駅前3番のりばから「大学病院」行きを利用。「大学病院」下車（所要時間約40分：410円）

大分大学学生支援部入試課（巨野原キャンパス） ※入学志願書提出及び入学手続き先

所在地 大分市大字巨野原700番地

TEL 097-554-7471

◎JR利用（JR豊肥本線）

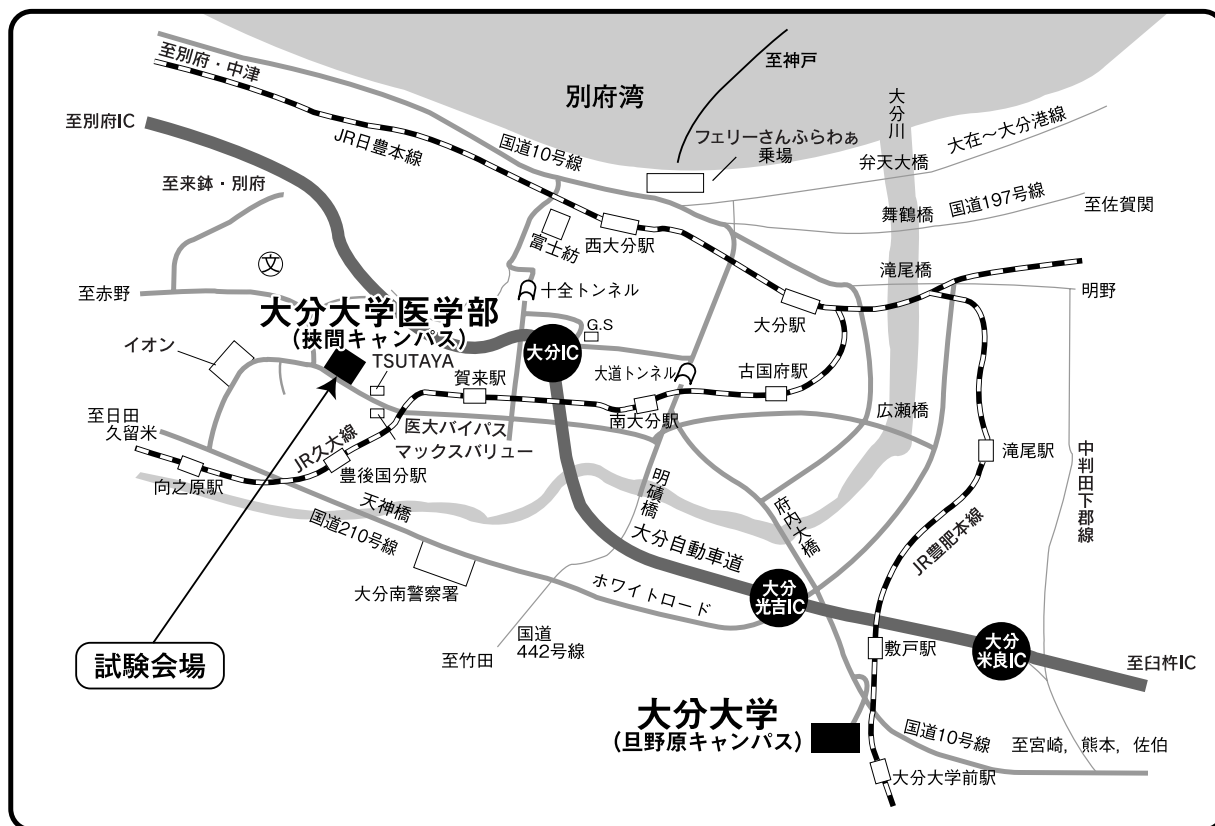
「大分大学前駅」下車（大分駅より約12分：240円）、徒歩約10分

◎バス利用（大分バス）

大分バス本社前〔トキハデパート前〕1番のりばから

○「大南団地・高江ニュータウン」又は「大分大学」行きを利用。「大分大学」又は「大分大学正門」下車（約40分：360円）

○「戸次、白杵、竹田、佐伯」行きを利用。「大分大学入口」下車（約40分：350円）、徒歩約10分



II 入学案内

医学科の紹介

1 沿革

医学部は、昭和51年10月に開学し、同53年4月に第1期の学生を受け入れ、同59年3月に第1期卒業生を送り出しました。

2 教育目標

- (1) 幅広い教養と高い倫理観、責任感を備え、感性豊かな人材を育成する。
- (2) 問題発見・解決型の教育を行い、疾病予防や診断、治療方法の改善、原因や病態の解明向上に貢献でき、最新の医学知識や技術を習得するための生涯学習能力を備えた人材を育成する。
- (3) 個人の生命や健康、権利、尊厳を守り、コミュニケーション能力と協調性並びに指導力を備え、全人的医療やチーム医療の実践ができる人材を育成する。
- (4) 医療や保健・福祉の問題を理解し、広い視野から地域社会のみならず国際的にも活躍、貢献できる人材を育成する。

3 特色

- (1) 本学科では、平成12年度からこれまでの教育システムを抜本的に改正し、入学後直ちに行う早期体験実習、教養・基礎教育と専門教育基礎あるいは臨床との連携・調和を強化するための節目ごとのイントロダクトリーコースの導入、また、専門教育では、臓器別、機能別のチュートリアル教育（少人数教育）やクリニカル・クラークシップ（チーム医療の一員としての臨床参加型実習）の導入を行い、常に医学に対する勉学意欲を保持し、これまでの講義中心の受身的学習から、自ら問題点を見つけ、考え、調べ、グループで討論しながら解決する自己問題解決型学習方法を取り入れました。
- (2) 最近の医学の発展と多様化に対応し、また、機能別・臓器別カリキュラムの教育効果を高めるよう一貫した教育・研究指導を目指しています。
- (3) 臨床医学系に我が国で最初に臨床薬理学講座と附属病院に臨床薬理センターが設置され、医薬品の有効で安全な合理的使用法と評価のための臨床試験に関する研究と教育、医薬品の臨床試験の支援、臨床研究を支援する新しい職種である臨床研究コーディネーター（CRC）の国の養成施設としての活動も行われています。
- (4) 本学の全学研究推進機構に学内の感染症の研究者を核として重点研究推進分野を設置し、アジアやカリブ地域の感染症に関する学際的研究、これらの地域との学術交流と国際医療協力の推進、4年次2学期の研究室配属期間に行うフィリピン国立サン・ラザロ病院（感染症専門病院）における学生の海外実習の準備教育などを行っています。

4 カリキュラム等

カリキュラムの概要は、以下のとおりです。

① イントロダクトリーコースの採用

教養教育、専門基礎（チュートリアル教育）、専門教育（臨床）開始前にはイントロダクトリーコースを設け、各コースで円滑に学習するために必要な知識、技能、態度、意欲を習得できるよう配慮しています。イントロダクトリーコースⅠおよびⅡでは、医療人としての自覚と意欲を早期に形成するため、病院体験実習を実施しています。さらに、現代医学とりわけ生命科学の根幹をなす細胞生物学、分子生物学、免疫生物学の教育は、教養・基礎教育と医学専門教育を統合したくさび型カリキュラムとして導入し、学生が効率よく学習出来るシステムとしています。

臨床実習開始前のイントロダクトリーコースⅢでは、患者（国民）さんに指導医の監督下で医学生が安全な医行為ができるかを担保するため、医学生有能力と適性について全国的な一定水準を確保するための全国共通の標準評価試験（臨床実習開始前の共用試験）を実施しています。さらに医療倫理・心理学，医療安全，感染対策，医療記録，医療法規，医療経済など，臨床実習に必要な教育も実施しています。

② 統合カリキュラムの編成

従来の基礎医学，臨床基礎医学，社会医学，臨床医学という医学教育の分類をできる限り臓器別，機能別のコースに分け，そのコースに関連した事例から，学生自身が学習目標を設定し，関連した基礎・社会・臨床医学を学ぶチュートリアル教育と，そのコースに関連した講義・実習を組み合わせた統合カリキュラムを実施しています。

③ 診療参加型臨床実習の導入

実際の医療チームの一員として参加する診療参加型臨床実習を第5年次前学期から実施し，診療を行う際の基本的能力である問題解決能力，症例呈示能力，診療録記載能力を持った医療人の養成を目指しています。さらに地域医療の現状ややり甲斐を体験するため，診療所研修や救急車同乗実習なども実施しています。

カリキュラム概念図

学 年	一		二		三			四			五		六		
学 期	前	後	前	後	1	2	3	1	2	3	前	後	前	後	
修学期間	I				II		III			IV		V			
主たる 修学段階	教養教育科目				専門基礎科目						専門教育科目（臨床）				
	イントロダクトリーコースⅠ	全学共通科目 外国語科目 身体・スポーツ科学科目 教養・基礎教育科目			イントロダクトリーコースⅡ	チュートリアル教育 18コース 研究室配属			イントロダクトリーコースⅢ	臨床実地修練 (クリニカル・クラークシップ)					

大学生生活

1 入学料・授業料の免除及び徴収猶予

(1) 入学料の免除・徴収猶予

入学料は、次の各号のいずれかに該当すると認められる方については、本人の申請に基づき、選考のうえ入学料の全額または半額を免除、または徴収猶予を許可することがあります。

ア 経済的理由により入学料の納付が困難であり、かつ学業優秀と認められる方

イ 入学前1年以内に学資負担者が死亡した方、または入学前1年以内に風水害の災害を受けた方

ウ イに準ずる場合であって、学長が相当と認める事由がある場合

後学期入学の方につきましては、入学者数が少ないため、入学料の免除はできません。後学期入学の方については、徴収猶予の申請のみの受付となります。

(2) 授業料の免除

授業料は、次の各号のいずれかに該当する方については、本人の申請に基づき、選考のうえ授業料の全額または半額の免除を許可することがあります。申請は各学期（前学期、後学期）ごとにそれぞれ必要です。入学日に属する期の申請は、入学手続の際に受け付けます。

ア 経済的理由によって授業料の納付が困難であると認められ、かつ学業優秀と認められる方

イ 入学前1年以内に、学資負担者が死亡し、または本人若しくは学資負担者が風水害等の災害を受け、授業料の納付が著しく困難な方

ウ イに準ずる場合であって、学長が相当と認める事由がある場合

詳しくは、学生支援課奨学支援グループ（TEL 097-554-7386）にお問い合わせください。

2 奨学金

日本学生支援機構の定期採用の募集は4月です。追加募集や他の奨学団体の募集は医学・病院事務部学務課の掲示板をご覧ください。

日本学生支援機構の奨学金の種類は、次のとおりです。（平成24年度採用者）

第一種奨学金 (無利子)	自宅通学者 月額 45,000円 自宅外通学者 月額 51,000円
第二種奨学金 (有利子)	月額 30,000円・50,000円・80,000円・ 100,000円・120,000円から選択

詳しくは、学生支援課奨学支援グループ（TEL 097-554-7469）にお問い合わせください。

3 大分大学入学料・授業料奨学融資制度

大学が制度の利用を承認した後、学生本人が地元金融機関から入学料や授業料の融資を受けた場合、元本返済は卒業後となり、在学中の利子を大学が負担します。在学中の利子の返還義務はありません。

なお、入学料で奨学融資の制度の利用を申請する場合、入学手続時に入学料徴収猶予の申請が必要となります。

詳しくは、学生支援課奨学支援グループ（TEL 097-554-7386）にお問い合わせください。

4 傷害保険

(1) 学生教育研究災害傷害保険

大学に学ぶ学生の被る種々の教育研究活動中の災害に対する学生の互助共済制度で、教育研究活動中に生じた急激かつ偶然な外来の事故によって、身体に傷害を被った場合に、保険金が支払われます。条件は次のとおりです。

① 保 険 料 (医学科) 4,130円 (保険期間5年分)

② 支払保険額

区 分	正課中・学校行事中	課 外 活 動 中 ・ 学校施設内の休憩中	通学中・施設間の移動中
死 亡 の 場 合	2,000万円	1,000万円	1,000万円
後遺障害のある場合	90万円～3,000万円	45万円～1,500万円	45万円～1,500万円
医師の治療を受けた場合	3千円～30万円 (治療期間1日以上)	3万円～30万円 (治療期間14日以上)	6千円～30万円 (治療期間4日以上)

上記のほか入院時には入院加算金として、1日につき4,000円(18日を限度)が医療保険金に関係なく入院1日目から支払われます。

また、臨床実習中に針刺し事故などで感染症の病原体に予期せず接触し、感染予防措置を行った際、1事故につき15,000円が支払われます。

なお、本学部の入学生全員が、入学と同時に保険加入手続きをとることにしています。

5 入学後の住居等

本学挟間キャンパス内には学生寮を設置していません。下宿・アパート等の紹介(斡旋)は、大分大学生生活協同組合(TEL 0120-66-8949)で行っています。

なお、現在、アパート等の部屋代は、1DKでおおむね35,000円～48,000円程度です。

6 通学方法

1・2年次に在学中の者及び2km以内に居住している者は、自家用自動車(自動2輪車を除く。)による通学を禁止しています。

7 課外活動

充実した学生生活を送るためには、勉学に励むことはもとより、課外活動を通じ、豊かな情操と健康な心身を養うことも大切です。

現在、挟間キャンパスの課外活動施設としては、体育館、武道場、弓道場、グラウンド、テニスコート、プール、課外活動共用施設があります。

また、次のような体育系、文化系のサークル及び同好会が学内外で多彩な活動を行っています。

(体育系) バスケットボール部、バレーボール部、バドミントン部、卓球部、剣道部、サッカー部、ラグビー部、準硬式野球部、硬式庭球部、ワンダーフォーゲル部、ソフトボール部、水泳部、弓道部、ボードセーリング部、陸上競技部、少林寺拳法部、自転車同好会、M&B (Muscle & Beauty)、ソフトテニスサークル、ダンスサークル、アウトドアサークル、ハンドボールサークル、フットサルサークル

(文化系) 軽音楽部、コーラス部、E. S. S、茶道部、管弦楽団、邦楽同好会、ビリヤードサークル、ALSボランティアサークルうみの会、救命サークル(Hot Line)、将棋同好会、東洋医学研究会、おおいたぬいぐるみ病院、囲碁サークル、写真サークル、IFMSA大分、Jazzサークル(Le Vent)、情報研究サークル(VIA)、プライマリ・ケア勉強会、かぼすサークル

8 福利施設

日常の便宜を図るために、食堂、売店、書店、グループ学習室が設置されています。

入学試験に関する問い合わせ先

〒870-1192 おおいたし おおあざだん の はる 大分市大字旦野原700番地
大分大学学生支援部入試課

TEL 097-554-7471

なお、この募集要項の内容はホームページ (<http://www.oita-u.ac.jp/>) にも記載しています。